

ご使用になる前に必ずお読みください。また本書は製品を破棄するまで大切に保管してください。

共通仕様

■ 特徴

- ★可変レバーレシオ 独自の可変レシオレバーを採用。32/34mmの2種類の選択が可能。
- ★ホールディングレバー 転倒時のダメージを軽減するため、可倒式レバーを採用
- ★クイックリリースマウント ボルト1本で脱着可能なクイックシステム。素早く確実な作業が可能に
- ★ベアリング採用 レバーピボット部にはベアリングを採用しスムーズな動きを可能に

■ 仕様

- ハンドル径 : φ 22.2 (インチバー不可)
- レバーレシオ : 32/34mm (レバーピボットボルトセンターからワイヤータイコセンターの距離)
- ワイヤータイコ径 : 8mm
- アウターエンド径 : 8mm
- レバーアジャスト : 12段階クリック
- クラッチスイッチ : 2線式プッシュスイッチ標準装備
- 材質 : アルミニウム (削り出しボディー)
- 重量 : 約270g(STDレバー仕様/スイッチ無)

■ ラインナップ

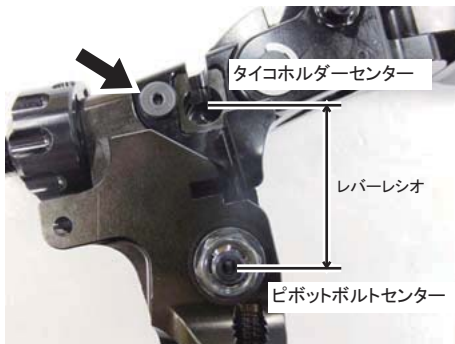
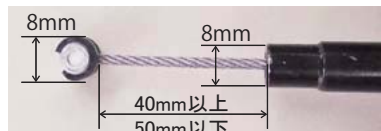
レバー長		カラーバリエーション					
STDレバー仕様	ショートレバー仕様	ボディー	レバー	ロゴ	ピボットピン	レバーレシオ	
WCH34BK	WCH34BK-S	ブラック	ブラック	ホワイト	ブラック	32/34mm	STD
WCH34BK-M	WCH34BK-MS						ミラーホルダー付
WCH34BR	WCH34BR-S	ブラウン	ブラック	ホワイト	ブラック	32/34mm	STD
WCH34BR-M	WCH34BR-MS						ミラーホルダー付

※ミラーホルダー付:ミラー取付部(M10xP1.25/正ネジ)

取扱注意事項

■ 基本取り付け事項

- 取り付けタイコ径 ⇒ 8mm
- ワイヤアウターエンド外径 ⇒ 8mm
- ワイヤ吐出量 ⇒ 引いて 40mm以上～50mm以下



● レバーレシオの変更手順

- ※レバーピボットボルトセンターからタイコセンターまでの距離
- 1) レバーからワイヤーを外し、レバー裏側のボルトを取り外します。
※タイコホルダーの脱落に注意してください
 - 2) 切りかきを外側に向けてタイコホルダーを交換します。



- 3) タイコホルダーをボルトで固定します。
- 4) ワイヤーを取り付け、遊びを調整します。

○ 参考

純正レバーのレシオが34mmの場合
32mmのタイコホルダーを使用するとレバーの握りが若干軽くなり、ストローク量が増します。

● レバー調整



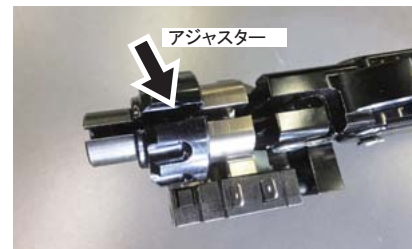
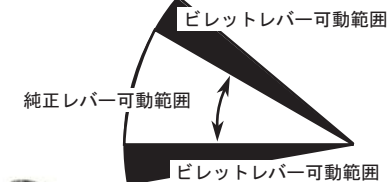
- ① レバーの距離の調整(アジャストノブを回します)
右回し:レバーの位置が遠くなります
左回し:レバーの位置が近くなります
- ② レバー使用範囲
実際にレバーを握ってベストポジションを決定してください
必要以上に遠くしたり、近くにしないでください

警告 レバー調整後は下記の事項を必ず確認してください

- ★レバー距離を近くにした場合
レバーを握った時にクラッチが切れている確認してください
- ★レバー距離を遠くにした場合
ハンドルをフルロック時にカウル・カウルステー等に接触していないか確認してください

注意

レバーの可動範囲はノーマルレバーの可動範囲より広がる場合があります。ノーマルレバーの可動範囲以外の位置(右図黒部分)で使用するには必ず警告事項を確認して使用者ご自身で有効使用範囲をご確認ください。



注意

アジャスターダイヤルの溝とホルダーの溝が一行に並んだ状態で使用しないでください。
ワイヤーが外れる恐れがあります。



注意

アジャスターの吐出量は15mm以下になるようにエンジン側で調整して使用してください。
最大で20mm以上吐出しないでください。



○ 締め付けトルク

- A: ハンドルクランプボルト : 12Nm
- B: レバー可倒部 : 12Nm
- C: ピボットボルト : 1.0Nm
- D: ピボットナット : 6Nm
- E: タイコホルダー固定ボルト : 1.0Nm

注意

締め付けトルクは厳守してください。
オーバートルクにより破損
締め付け不足により緩みの原因になります。

※KAWASAKI車のクラッチスイッチ配線結線方法（3本線タイプ）

3Pカプラーの両端の配線とスイッチの配線を接続します。真ん中の線には接続しません

注意：ニュートラルでのエンジン始動時もクラッチを握ってエンジンを始動します

（クラッチを握らないとエンジンはかかりません）

警告

- レバーの距離を変更した場合には必ずクラッチの切れ具合とカウル等への接触が無いことを確認してください。
- 装着する車輛によっては、レバーレシオの違いによってストローク量・タッチ等が純正と異なる場合があります。ご自身の体が変化に慣れるまでは慎重に操作してください。
- 本製品の一部に鉄製の部品を使用しています。使用される環境（高温・多湿・塩害）等によって錆が発生する場合があります。事前に防錆剤等を定期的に塗布してください。

注意事項

- エンジン始動中および停止後はしばらくの間、エンジン・マフラーが高温になっています。必ず冷間時に作業を行い、作業以外の方が触れないように注意してください。（火傷等を負う恐れがあります）
- 取り付けは技能のある方を対象としております。整備資格のある方・整備工場で行なってください。
- 取り付けボルト・ナットはサービスマニュアルを参照し規定トルクで締め付けてください。また定期的に各部の点検を行なってください。
- 作業を行う際は、必ず水平な場所でスタンド及び車輛を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
- 取り付け可能ハンドル外径はφ22.2です。それ以外のハンドル外径には取り付けできません。
- ミラー取り付け径はM10XP1.25/正ネジです。
- クレームに関しては商品に不良があった場合に限り、お買い上げ後1週間以内を限度として修理及び交換させていただきます。但し、商品に加工等を施したり、商品以外の損失・損害についてはその責を負いかねますのでご注意ください。
- 製品取り付け後は、走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認したうえで走行してください。
- 取り付けたボルト・ナットは約100km走行後、改めて規定トルクで増し締めを行ってください。また500kmごとに点検を行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して、異常箇所の点検を行ってください。
- 公道で使用する場合にはオプションのスイッチキットを装着してください。

アルマイト処理のマスター注意事項



この度は、当社製品をご購入いただきありがとうございます。本書はアルマイト処理が施された製品の説明です。あらかじめ熟読し内容をご理解の上作業を行ってください。

製品が届きましたら取り付け作業前に次のことを確認してください。

- 付属品の内容物の確認【取扱説明書参照】
- マスター本体及び付属品のキズ及び仕上り状態の確認
- ※ 不具合などがございましたらお手数ですが当社又は販売店までご連絡願います。

当製品の検品作業の判断基準はアルマイトの特性を考慮して実施しております。良品判定であっても下記の症状がある場合があります。ご理解・ご了承をお願いいたします。

■アルマイト製品の説明■

アルマイト製品マスターには次のような特性があります。

- アルマイト処理による色ムラ等が発生することがあります。
- ハードアルマイトは着色ではなく自然発色の為、色に個体差があります。
- マスター表面には多少の傷や切削跡が残ることがあります。

本製品の内容は令和05年02月現在のものです

株式会社 アクティブ

〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目55番地
TEL (0561) 72-7011 FAX (0561) 72-7012
URL <http://www.acv.co.jp> 230216TNK04

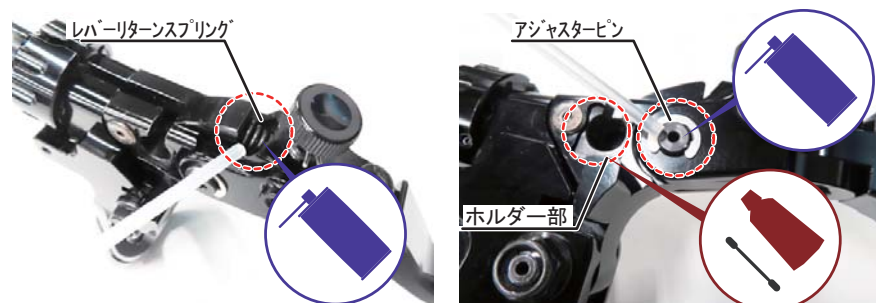
メンテナンス

準備物



- シリコングリス
- フッ素系 防錆スプレー
- 綿棒（あると便利です）

点線部分の可動部 / スプリングにグリス / 防錆スプレーを塗布してください。



ピボットピンを抜き取り、分解します。

警告

- 本製品の一部に鉄製の部品を使用しています。使用される環境（高温・多湿・塩害）等によって錆が発生する場合があります。